

IV 理工系教養科目

i) 数学

微分積分学第一・演習 (Calculus I / Recitation)

°柳田 英二 教授 加藤 文元 教授 芥川 和雄 (芥川 一雄) 教授 磯部 健志 准教授
村山 光孝 准教授 鈴木 正俊 准教授 小野寺 有紹 准教授 米田 剛 准教授
山川 大亮 助教 柴田 将敬 助教 菅 徹 助教 田辺 正晴 助教 野田 洋二 助教
BREZINA JAN 特任准教授 高井 勇輝 非常勤講師 谷口 由紀 非常勤講師
北山 貴裕 非常勤講師 1-1-0 1Q, 2Q

- I 微分積分学の基本を修得する。
- II 講義および演習ともに必ず履修すること。

線形代数学第一・演習 (Linear Algebra I / Recitation)

°柳田 英二 教授 二宮 祥一 教授 田口 雄一郎 教授 小島 定吉 教授
鈴木 正俊 准教授 村山 光孝 准教授 馬 昭平 准教授 KALMAN TAMAS 准教授
川内 毅 助教 染川 睦郎 助教 野田 洋二 助教 皆川 龍博 助教 高澤 光彦 助教
河井 真吾 助教 BREZINA JAN 特任准教授 浅田 和之 非常勤講師 梶原 健 非常勤講師
1-1-0 1Q, 2Q

- I 線形代数学の基本を修得する。
- II 講義および演習ともに必ず履修すること。

微分積分学第二 (Calculus II)

°柳田 英二 教授 本多 宣博 教授 利根川 吉廣 教授 梅原 雅頭 教授
服部 俊昭 准教授 BREZINA JAN 特任准教授 谷口 由紀 非常勤講師 2-0-0 3Q, 4Q

- I 微分積分学第一に引き続き、微分積分学を学ぶ。
- II 微分積分学演習第二をあわせて履修すること。

線形代数学第二 (Linear Algebra II)

°柳田 英二 教授 黒川 信重 教授 馬 昭平 准教授 水本 信一郎 准教授
鈴木 正俊 准教授 BREZINA JAN 特任准教授 梶原 健 非常勤講師 2-0-0 3Q, 4Q

- I 線形代数学第一に引き続き、線形代数学を学ぶ。
- II 線形代数学演習第二をあわせて履修すること。

微分積分学演習第二 (Calculus Recitation II)

°柳田 英二 教授 梅原 雅頭 教授 服部 俊昭 准教授 山川 大亮 助教
BREZINA JAN 特任准教授 菅 徹 助教 田辺 正晴 助教 野田 洋二 助教

0-1-0 3Q, 4Q

- I 問題を解くことにより理解を深める。
- II 微分積分学第二をあわせて履修すること。

線形代数学演習第二 (Linear Algebra Recitation II)

°柳田 英二 教授 黒川 信重 教授 水本 信一郎 准教授 野田 洋二 助教
BREZINA JAN 特任准教授 皆川 龍博 助教 川内 毅 助教 染川 睦郎 助教

0-1-0 3Q, 4Q

- I 問題を解くことにより理解を深める。
- II 線形代数学第二をあわせて履修すること。

ii) 物理学

力学基礎 1 (Fundamentals of Mechanics 1)

°江間 健司 准教授 井澤 公一 教授 岡 眞 教授 上妻 幹旺 教授
大熊 哲 教授 金森 英人 准教授 宗宮 健太郎 准教授 陣内 修 准教授
相川 清隆 准教 竹内 一将 准教授 平原 徹 准教授 實吉 敬二 准教授
谷城 康眞 助教 椎野 克 助教 綿引 芳之 助教 TILMA TODD EDWARD 特任准教授

1-0-0 1Q

- I 運動方程式による物体の運動の記述から始めて、質点の運動の基礎を学ぶ。
- II 講義内容の着実な理解のためにも物理学演習第一の履修が望ましい。

力学基礎 2 (Fundamentals of Mechanics 2)

°江間 健司 准教授 井澤 公一 教授 岡 眞 教授 上妻 幹旺 教授
大熊 哲 教授 金森 英人 准教授 宗宮 健太郎 准教授 陣内 修 准教授
相川 清隆 准教 竹内 一将 准教授 平原 徹 准教授 實吉 敬二 准教授
谷城 康眞 助教 椎野 克 助教 綿引 芳之 助教 TILMA TODD EDWARD 特任准教授

1-0-0 2Q

- I 力学基礎 1 に引き続き、相互作用をする質点の集りである質点系と剛体 (質点間の距離が一定の質点系) の力学、及び加速度運動をする座標系での運動を学ぶ。
- II 講義内容の着実な理解のためにも物理学演習第一の履修が望ましい。

電磁気学基礎 1 (Fundamentals of Electromagnetism 1)

°田中 秀数 教授 河合 誠之 教授 吉野 淳二 教授 柴田 利明 教授 西森 秀稔 教授
中村 隆司 教授 藤澤 利正 教授 笹本 智弘 准教授 相川 清隆 准教授
竹内 一将 准教授 實吉 敬二 准教授 平山 博之 教授 宗片 比呂夫 教授
河野 俊之 教授 河村 徹 講師 TILMA TODD EDWARD 特任准教授 1-0-0 3Q

- I クーロンの法則から出発し，静電場と静磁場について学ぶ。
- II 講義内容の着実な理解のためにも物理学演習第二の履修が望ましい。

電磁気学基礎 2 (Fundamentals of Electromagnetism 2)

° 田中 秀数 教授 河合 誠之 教授 吉野 淳二 教授 柴田 利明 教授 西森 秀稔 教授
 中村 隆司 教授 藤澤 利正 教授 笹本 智弘 准教授 相川 清隆 准教授
 竹内 一将 准教授 實吉 敬二 准教授 平山 博之 教授 宗片 比呂夫 教授
 河野 俊之 教授 河村 徹 講師 TILMA TODD EDWARD 特任准教授 1-0-0 4Q

- I 電磁気学基礎1に引き続き，静磁場，変動する電磁場，マクスウェル方程式，電磁波について学ぶ。
- II 講義内容の着実な理解のためにも物理学演習第二の履修が望ましい。

物理学演習第一 (Exercises in Physics I)

° 江間 健司 准教授 井澤 公一 教授 岡 眞 教授 上妻 幹旺 教授 大熊 哲 教授
 金森 英人 准教授 宗宮 健太郎 准教授 陣内 修 准教授 相川 清隆 准教授
 竹内 一将 准教授 平原 徹 准教授 實吉 敬二 准教授 谷城 康眞 助教
 椎野 克 助教 綿引 芳之 助教 TILMA TODD EDWARD 特任准教授 0-1-0 1~2Q

- I 演習問題を解くことを通じて，力学基礎1，2の講義内容の確実な理解と応用力を養う。
- II 物理学実験第一と交互に隔週で行う。

物理学演習第二 (Exercises in Physics II)

° 田中 秀数 教授 河合 誠之 教授 吉野 淳二 教授 柴田 利明 教授 西森 秀稔 教授
 中村 隆司 教授 藤澤 利正 教授 笹本 智弘 准教授 相川 清隆 准教授
 竹内 一将 准教授 實吉 敬二 准教授 平山 博之 教授 宗片 比呂夫 教授
 河野 俊之 教授 河村 徹 講師 TILMA TODD EDWARD 特任准教授 0-1-0 3~4Q

- I 演習問題を解くことを通じて，電磁気学基礎1，2の講義内容の確実な理解と応用力を養う。
- II 物理学実験第二と交互に隔週で行う。

物理学実験第一 (Physics Experiment I)

° 田中 秀数 教授 江間 健司 准教授 加来 滋 助教 栗田 伸之 助教 谷城 康眞 助教
 町田 洋 助教 0-0-1 1~2Q

- I 力学，波動，光，熱学に関する初歩的実験を通して，物理学で用いられる実験技術，コンピューターを用いる計測とデータ解析，およびレポート作成のポイントを学ぶ。
- II 物理学演習第一と交互に隔週で行う。

物理学実験第二 (Physics Experiment II)

° 田中 秀数 教授 江間 健司 准教授 加来 滋 助教 栗田 伸之 助教 谷城 康眞 助教
 町田 洋 助教 0-0-1 3~4Q

- I 物理学実験第一に引き続き，電磁気学，電気回路，原子物理学に関する初歩的実験を通して，物理学で用いられる実験技術，コンピューターを用いる計測とデータ解析，およびレポート作成のポイントを学ぶ。

II 物理学演習第二と交互に隔週で行う。

iii) 化学

無機化学基礎 (Basic Inorganic Chemistry)

°小松 隆之 教授 豊田 真司 教授 石谷 治 教授 川口 博之 教授 河野 正規 教授
八島 正知 教授 小坂田 耕太郎 教授 原 亨和 教授 植草 秀裕 准教授
火原 彰秀 准教授 鎌田 慶吾 准教授 武田 博明 准教授 Gergely Juhász 特任准教授

1-0-0 1Q, 2Q

I 原子の構造, 無機化合物における化学結合や結晶構造, 酸化・還元反応などの無機化学の基本事項を修得することを目的とする。

II 全クラスで共通の内容を講義する。英語クラスでは, 日本語クラスと同じ内容を英語で講義する。

有機化学基礎 (Basic Organic Chemistry)

°小松 隆之 教授 豊田 真司 教授 江口 正 教授 後藤 敬 教授 鈴木 啓介 教授
大塚 英幸 教授 富田 育義 教授 三上 幸一 教授 大森 建 准教授
鷹谷 絢 准教授 稲木 信介 准教授 Gergely Juhász 特任准教授 戸谷 希一郎 非常勤講師

1-0-0 1Q, 2Q

I 有機化合物における結合の形成と性質, 混成軌道, 異性体, 酸・塩基理論および反応などの有機化学の基本事項を修得することを目的とする。

II 全クラスで共通の内容を講義する。英語クラスでは, 日本語クラスと同じ内容を英語で講義する。

量子化学基礎 (Basic Quantum Chemistry)

°小松 隆之 教授 豊田 真司 教授 大島 康裕 教授 河内 宣之 教授 腰原 伸也 教授
筒井 一生 教授 藤井 正明 教授 河合 明雄 准教授 石川 謙 准教授
大見 俊一郎 准教授 酒井 誠 准教授 Gergely Juhász 特任准教授 長村 吉洋 非常勤講師

1-0-0 3Q, 4Q

I 波動関数の基礎を理解した上で, 箱の中の粒子, 水素原子, 多電子原子, 2原子分子などを対象にして, 量子化学の基本的考え方を修得することを目的とする。

II 全クラスで共通の内容を講義する。英語クラスでは, 日本語クラスと同じ内容を英語で講義する。

化学熱力学基礎 (Basic Chemical Thermodynamics)

°小松 隆之 教授 豊田 真司 教授 木口 学 教授 伊原 学 教授 彌田 智一 教授
沖本 洋一 准教授 北島 昌史 准教授 西野 智昭 准教授 前田 和彦 准教授
河村 憲一 准教授 小澤 健一 助教 Gergely Juhász 特任准教授 1-0-0 3Q, 4Q

I 熱力学の第一および第二法則に基づいて, エンタルピー, エントロピー, ギブズエネルギーなどの化学熱力学の基本事項を修得することを目的とする。

II 全クラスで共通の内容を講義する。英語クラスでは, 日本語クラスと同じ内容を英語で講義する。

化学実験第一 (Chemistry Laboratory I)

°小松 隆之 教授 豊田 真司 教授 安藤 吉勇 助教 大塚 拓洋 助教 小澤 健一 助教
鶴巻 英治 助教 藤井 孝太郎 助教 古川 森也 助教

0-0.5-1.5 1~2Q

I 化学実験における基本的知識・操作を修得するとともに、演習・実験・レポートを通して化学の基本事項をより深く修得することを目的とする。

II ミョウバンの結晶，標準電極電位，クロムの化学，メチルオレンジの合成，pH 滴定曲線，コンピュータを用いる分子モデリングの6テーマについて実験を行う。所定のテキストを使用する。

化学実験第二 (Chemistry Laboratory II)

°小松 隆之 教授 豊田 真司 教授 大塚 拓洋 助教 小澤 健一 助教 鶴巻 英治 助教
原田 誠 助教 藤井 孝太郎 助教 古川 森也 助教

0-0.5-1.5 3~4Q

I 化学実験における基本的知識・操作を修得するとともに、演習・実験・レポートを通して化学の基本事項をより深く修得することを目的とする。

II 1次反応速度定数，糖類の化学，分光光度計による解離定数の測定，吸収スペクトルと色，*p*-ニトロアセトアニリドの合成，フラボノイドの化学の6テーマについて実験を行う。化学実験第一と同じテキストを使用する。

iv) 生命科学

生命科学基礎第一 1 (Fundamental Life Science 1-1)

°岩崎 博史 教授 近藤 科江 教授 糸 昭苑 教授 中戸川 仁 准教授
中村 信大 准教授 田中 幹子 准教授 立花 和則 准教授 TAKAHASHI MASAYUKI 教授

1-0-0 1Q

本講義は、高校の「生物」を未履修であることを前提として生命科学を基礎から平易に教授する。生体構成物質の構造，遺伝子の構造と発現機構，細胞の構造など，生命の根幹をなす仕組みを，幹細胞やゲノムなどの先端的トピックスを織り交ぜながら概説する。全類必修科目である。

生命科学基礎第一 2 (Fundamental Life Science 1-2)

°福居 俊昭 教授 一瀬 宏 教授 梶原 将 教授 宮下 英三 准教授
増田 真二 准教授 太田 啓之 教授 中村 信大 准教授 TAKAHASHI MASAYUKI 教授

1-0-0 2Q

本講義の履修は、「生命科学基礎第一 1」を単位取得済みであることを前提とする。細胞の機能，神経系，免疫系など，生命の根幹をなす仕組みを，脳科学や感染症などの先端的トピックスを織り交ぜながら概説する。全類必修科目である。

生命科学基礎第二 1 (Fundamental Life Science 2-1)

°駒田 雅之 教授 伊藤 武彦 教授 山口 雄輝 教授 田口 英樹 教授 木村 宏 教授
小倉 俊一郎 准教授 梶川 正樹 講師 TAKAHASHI MASAYUKI 教授 1-0-0 3Q

本講義の履修は、「生命科学基礎第一 1」と「生命科学基礎第一 2」を単位取得済みであることを前提とする。遺伝子の発現制御機構、タンパク質の構造と機能、細胞間情報伝達機構など、生命の根幹をなす仕組みを、バイオインフォマティクスなどの先端的トピックスを織り交ぜながら概説する。選択科目である。

生命科学基礎第二 2 (Fundamental Life Science 2-2)

°本郷 裕一 教授 中村 聡 教授 福居 俊昭 教授 梶川 正樹 講師
TAKAHASHI MASAYUKI 教授 1-0-0 4Q

本講義の履修は、「生命科学基礎第一 1」と「生命科学基礎第一 2」を単位取得済みであることを前提とする。「生命科学基礎第二 1」も単位取得済みであることが望ましいが、前提条件とはしない。遺伝、進化、生態など、生命の根幹をなす仕組みを、バイオテクノロジーや環境問題などの先端的トピックスを織り交ぜながら概説する。選択科目である。

生命科学基礎実験 (Fundamental Life Science Laboratory)

°本郷 裕一 教授 福居 俊昭 教授 石島 純夫 助教 田守 正樹 助教
0-1-1 3~4Q

本実習の履修は、「生命科学基礎第一 1」と「生命科学基礎第一 2」を単位取得済みであることを前提とする。細胞の顕微鏡観察と生理学実験、動物の解剖、DNA とタンパク質の抽出・定量など、生命科学における初歩的な観察・実験手法を修得し、生命科学基礎講義の内容を実践的に理解する。毎回レポートの提出を義務づける。選択科目である。

v) 宇宙地球科学

宇宙地球科学 A (Earth and Space Sciences A)

綱川 秀夫 教授 横山 哲也 准教授 高橋 栄一 教授 中本 泰史 教授 長井 嗣信 教授
佐藤 文衛 准教授 上野 雄一郎 准教授 野村 英子 准教授 太田 健二 講師
2-0-0 1Q

現代の宇宙観とそれを形づくる基本的な考え方を、天文学の観測事実と物理学及び化学の法則をもとに理解する。まず、天体の大きさや距離、物理的及び化学的性質をどのようにして測定するかを説明する。続いて、恒星、銀河系、銀河という宇宙の構成要素について説明し、宇宙の構造を理解する。さらに、ビッグバンに始まる宇宙の進化について解説し、これに伴う宇宙の元素合成、化学進化について理解を深める。最後に、私たちの太陽系の起源と、天文学観測に基づく太陽系外惑星研究の最先端を紹介する。

宇宙地球科学 B (Earth and Space Sciences B)

綱川 秀夫 教授 横山 哲也 准教授 高橋 栄一 教授 中本 泰史 教授 長井 嗣信 教授
佐藤 文衛 准教授 上野 雄一郎 准教授 野村 英子 准教授 太田 健二 講師
2-0-0 3Q

地球・月および太陽系惑星・衛星の現在と進化の大筋を講義する。観測・実験データに基づき簡単なモデリングを行い、地球・月および太陽系惑星・衛星の現在と 46 億年間の進化を科学的に概観する。まず、地球を主な対象例として形状・内部構造・ダイナミクスを物理学的に理解する手順を紹介・解説する。次に、地球表層および内部の物質について岩石の種類・成因等を解説し、地球表層のダイナミックな変動と原因を解説する。さらに、地球や他の惑星の大気組成と構造を

解説し、最後に太陽系天体の観測について紹介する。

宇宙地球科学基礎ラボ（地球物理）（Earth and Space Sciences, Laboratory and Field Studies (geophysics)）

綱川 秀夫 教授 中本 泰史 教授 岡元 太郎 助教 松島 政貴 助教

0-0-1 2Q

宇宙地球科学の大きなテーマは、さまざまな方法を用いて地球・惑星やその他の天体の形状や内部を探り、そこに生起する現象のメカニズムを解明し、そして地球・太陽系・宇宙や生命の進化の歴史をひもとくことである。この科目では、そのような宇宙地球科学で用いられる実験・観測・データ解析の初等的な部分を体験し、各種の実験方法や自然現象を記述する理論を理解することを目的とする。太陽光スペクトルの観察、地震探査、クレーター衝突実験等の室内実験及び構内を利用した野外実験と、コンピューターを利用した統計データ解析を行う。

宇宙地球科学基礎ラボ（地球物質）（Earth and Space Sciences, Laboratory and Field Studies (earth materials)）

中島 淳一 教授 高橋 栄一 教授 臼井 寛裕 助教 0-0-1 2Q

宇宙地球科学における野外実験や野外観測、地質調査の手法を体験し理解を深める。事前の学習に基づき、2泊3日程度の巡検旅行に出かけ、火山・活断層などにつき実地で観察・学習する。天文学、地震学、地質学に関する大型研究施設や博物館などの見学を行い、宇宙地球科学に関して幅広く学ぶこと目的とする。

宇宙地球科学基礎ラボ（天文宇宙）（Earth and Space Sciences, Laboratory and Field Studies (astronomy)）

佐藤 文衛 准教授 未定 0-1-0 3Q

石川台地区にある天体望遠鏡及び CCD カメラを使って太陽以外の恒星周囲の惑星（系外惑星）を観測する天文観測実習である。自ら取得したデータを解析し、系外惑星の半径や密度などの物理的性質について考察を行うことによって、宇宙地球科学における天文観測の手法に対する理解を深めることを目的とする。単にきれいな星空を愛でる天体観察から一歩進んで、宇宙の謎に挑む観測天文学の一端を体験する。

vi) 図学

図学・図形科学 1（Descriptive Geometry・Graphic Science1）

伊能 教夫 教授 木村 仁 助教 0.5-0.5-0 3Q

空間図形の理解と空間把握力を養うことを目的に図法幾何学を学ぶ。図法幾何学は、図形問題を数式を使わずに紙面上で適当な図形変換を行うことによって解を導くことを基本とする学問である。講義では第三角法に基づく図法幾何学について解説する。また演習では講義に関連する図形問題を解くことによって理解を深める。

図学・図形科学 2（Descriptive Geometry・Graphic Science2）

伊能 教夫 教授 木村 仁 助教 0.5-0.5-0 4Q

空間図形の理解と空間把握力を養うことを目的に図法幾何学を学ぶ。図法幾何学は、図形問題を数式を使わずに紙面上で適当な図形変換を行うことによって解を導くことを基本とする学問である。講義では第三角法に基づく図法幾何学について解説する。また演習では講義に関連する図形問題を解くことによって理解を深める。

図学・図形科学 3 (Descriptive Geometry・Graphic Science3)

岩附 信行 教授 伊能 教夫 教授 菅原 雄介 准教授 0.5-0.5-0 1Q

コンピュータグラフィックスの基礎として、平面および空間図形の数理的な取り扱いを学ぶ。ベクトルや行列または多面体の集合による図形の表現、それらに基づく図形の変形や変換、交線などの図形間の関係の解析、および幾何光学との関連について講述するとともに、計算機援用工学解析・設計への応用について解説する。演習では、実際にパーソナルコンピュータを操作して図形の描画、解析、設計を実行し、講義内容の理解を深める。

図学・図形科学 4 (Descriptive Geometry・Graphic Science4)

岩附 信行 教授 伊能 教夫 教授 菅原 雄介 准教授 0.5-0.5-0 2Q

コンピュータグラフィックスの基礎として、平面および空間図形の数理的な取り扱いを学ぶ。ベクトルや行列または多面体の集合による図形の表現、それらに基づく図形の変形や変換、交線などの図形間の関係の解析、および幾何光学との関連について講述するとともに、計算機援用工学解析・設計への応用について解説する。演習では、実際にパーソナルコンピュータを操作して図形の描画、解析、設計を実行し、講義内容の理解を深める。

図学・図形デザイン第一 (Descriptive Geometry for Space Design1)

安田 幸一 教授 奥山 信一 教授 塚本 由晴 教授 山崎 鯛介 准教授

村田 涼 准教授 塩崎 太伸 准教授 能作 文徳 助教 川島 範久 助教

1-1-0 1~2Q

- I 図学は幾何学的形態を平面に描写する方法の科学であり、空間図形の理解を容易にし、空間の把握力を養うことを目的とする。図学・図形デザイン第二に継続する。
- II 点・直線・平面の投影、曲面の構成と投影、面の展開、立体の切断を扱う。

図学・図形デザイン第二 (Descriptive Geometry for Space Design2)

安田 幸一 教授 奥山 信一 教授 塚本 由晴 教授 山崎 鯛介 准教授

村田 涼 准教授 塩崎 太伸 准教授 能作 文徳 助教 川島 範久 助教

1-1-0 3~4Q

- I 図学は幾何学的形態を平面に描写する方法の科学であり、空間図形の理解を容易にし、空間の把握力を養うことを目的とする。図学・図形デザイン第一からの継続である。
- II 立体の相貫、面の接触、陰影、軸測・斜軸測投影、透視図を扱う。

図学製図 (Descriptive Geometry and Drawing)

安田 幸一 教授 奥山 信一 教授 塚本 由晴 教授 山崎 鯛介 准教授

村田 涼 准教授 塩崎 太伸 准教授 能作 文徳 助教 川島 範久 助教

0-0-1 1~4Q

図学・図形デザイン第一および第二の講義・演習と並行して製図を行い、空間図形の具体的な表現技術を修得することを目的とする。

vii) 情報

情報リテラシ第一 (Information Literacy I)

° 脇田 建 准教授 Xavier Defago 教授 亀井 宏行 教授 伊知地 宏 非常勤講師
久野 禎子 非常勤講師 地引 昌弘 非常勤講師 轟見 敏行 非常勤講師
永藤 直行 非常勤講師 仲道 嘉夫 非常勤講師 0.5-0.5-0 1Q

大学生活において必要とされる情報活用能力のうち主に情報へのアクセスの面に焦点を絞り、一般的な情報活用能力、および本学が提供している各種学術情報の利用方法を学ぶ。併せて情報化社会において責任のある個人として行動する規範を学ぶ。

情報リテラシ第二 (Information Literacy II)

° 脇田 建 准教授 Xavier Defago 教授 伊知地 宏 非常勤講師 久野 禎子 非常勤講師
地引 昌弘 非常勤講師 轟見 敏行 非常勤講師 永藤 直行 非常勤講師
仲道 嘉夫 非常勤講師 0.5-0.5-0 2Q

情報リテラシ第一で情報サービスの活用能力を身につけた人を対象として、本学での学習の場において不可欠な情報活用能力として、実験データを加工・処理する能力、科学技術文書の執筆能力、学術的な知識を効果的に発表するためのプレゼンテーション能力を養う。

コンピュータサイエンス第一 (Computer Science I)

° 鹿島 亮 准教授 渡辺 治 教授 Xavier Defago 教授 伊知地 宏 非常勤講師
谷 誠一郎 非常勤講師 永藤 直行 非常勤講師 仲道 嘉夫 非常勤講師
真野 健 非常勤講師 0.5-0.5-0 3Q

コンピュータサイエンスは我々がやりたいこと・分析したいことをいかにして「計算」という形で表しコンピュータで実行できるようにするかを研究する学問である。この授業ではその基礎となる考え方や技術を、講義と演習で学ぶ。それらは仕事や研究でコンピュータを使う際の基礎となるだけでなく、物事を科学的に分析する上での重要な道具となるであろう。

コンピュータサイエンス第二 (Computer Science II)

° 鹿島 亮 准教授 渡辺 治 教授 Xavier Defago 教授 伊知地 宏 非常勤講師
谷 誠一郎 非常勤講師 永藤 直行 非常勤講師 仲道 嘉夫 非常勤講師 真野 健 非常勤講師
0.5-0.5-0 4Q

コンピュータサイエンス第一で基本的な考え方や技術を学んだ人を対象にして、アルゴリズム、計算量、数値計算、シミュレーションなどコンピュータサイエンスにおける重要なテーマの中から適宜問題を設定して、講義とプログラミング演習によってそれらを学んでいく。

viii) 環境教育

環境安全論 (Environment and Safety)

工藤 史貴 准教授 小林 雄一 教授 小松 隆之 教授 日野出 洋文 教授
伊原 学 教授 大内 幸雄 教授 小原 徹 教授 末包 哲也 教授 関口 秀俊 教授
福居 俊昭 教授 村山 武彦 教授 山田 明 教授 吉田 尚弘 教授 錦澤 滋雄 准教授
阿部 直也 准教授 小倉 俊一郎 准教授 立花 和則 准教授 古屋 秀峰 准教授
松本 義久 准教授
井口 泰泉 非常勤講師 梶井 克純 非常勤講師 刈間 理介 非常勤講師
笹本 公明 非常勤講師 篠原 直秀 非常勤講師 杉山 千歳 非常勤講師
古郡 ゆう子 非常勤講師 三宅 淳巳 非常勤講師 村田 静昭 非常勤講師
吉田 英生 非常勤講師 1-0-0 1Q, 2Q

まず過去の公害問題から現在の地球環境問題への変遷を理解し、環境と安全に対する認識を高める。次いで、様々な環境問題に対して講じられてきた政策について学ぶ。さらに、科学技術を駆使して行なわれている具体的な環境安全対策について学ぶ。総じて、地球環境問題を客観的かつ論理的に理解し、さらに、環境問題を考える上でも欠かせない安全という概念を理解し持続可能な社会を指向できるようになることを目指す。

ix) 科学・技術の最前線

科学・技術の最前線 (Frontiers of science and technology)

類主任 1-0-0 1Q

- I 第1類から第7類の担当教員が招聘する世界第一線の科学者・技術者の行う講義を通じて、科学・技術のトップランナー達がどのような考え方で課題に向き合っているのかを体感し、学生個々が大学でどのように学修してゆくかを考える。1～7類の最先端の科学技術をまとめて紹介する唯一の授業なので、専門学修の端緒として重要な内容である。
- II 学生は4グループに分かれ、各グループの学生は第1類～第7類の提供する全ての講義を順番に受講する。一部に英語での授業も設定される。

x) 創造性育成

ものづくり (Mono-Tsukuri (Craft and Design))

山田 明 教授 齊藤 卓志 准教授 1-0-1 2Q

CAD (コンピュータ支援設計) と3Dプリンタを用いた最先端のモデリング、マイクロコントローラを用いたプログラミングなど、実際の「ものづくり」を通して、理論、設計、製作、評価という一連のプロセスを実際に体験する。これにより、モデリングと実際との相違、「ものづくり」の楽しさ、創意工夫の重要性を学び、課題発見・解決力を身につける。